

令和5年度 特別国体関東ブロック大会 水球競技【戦評】

会場：埼玉県大宮公園水泳場

【2023/8/6】

この試合のプレー集計

代表戦

東京都	18	<table border="0"> <tr><td>2</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>1</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>PSO</td><td>6</td></tr> </table>	2	—	4	5	—	3	5	—	3	1	—	3	5	PSO	6	19	神奈川県
2	—	4																	
5	—	3																	
5	—	3																	
1	—	3																	
5	PSO	6																	

審判： 荻野 浩明
中 哲朗

東京都	33	SH数	24	神奈川県
	2	速攻数	7	
	11	ST・SB	12	
	20	SH・P誘発アシスト	15	
	19%	GK阻止率	43%	
	13	EX反則数	7	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

泳ぎで上回る神奈川、個人技で勝負する東京。代表権をかけた熾烈な争いが予想される一戦。

1P

東京の攻撃に神奈川がきちんとディフェンスし、ボール奪取から全員攻撃で圧力をかけて神奈川が2点を連取(①栢、②田村)。対する東京も退水攻撃を軸に食い下がる展開で(②中野が2得点)、東京2-4神奈川で第1ピリオド終了。両チームの特徴が発揮された第1ピリオドであった。

2P

神奈川のパスを⑦吉澤がスチールして、そこから⑤山崎が退水を誘発、そこを⑦吉澤が決めて1点差に東京が詰めた。続けて、神奈川のオフェンス反則から東京が敵陣に神奈川を追い込み、ぽっかりと空いたセンター②中野からパスを受けた⑥和多田が決めて東京4-4神奈川と同点に。しかし神奈川も退水を誘発し、右サイド⑤西山から逆サイド⑩鈴木へのラストパスを東京がペナルティファウル。そこを⑤西山が決めて再び神奈川がリード。直後の東京攻撃で⑥和多田が退水を誘発して、⑦吉澤が決めて同点。続けて③橋本がセンターで決めてこの試合はじめて東京がリードを奪った。しかし神奈川も③鈴木がセンターで決めると、東京も②中野が得意のポジションでフックシュートを決め、得点の応酬に。神奈川も①栢が取り返して東京7-7神奈川と大接戦。神奈川は相変わらずオフェンス反則が目立ち(このピリオド5本)、チャンスを十分に活かさない展開で、東京の試合巧者ぶりが目立ったピリオドだった。

3P

双方が持ち味を出して点の取り合いに。神奈川DFのゴール前がやや手薄になる場面が続き、そこへドライブを仕掛ける東京。特に東京⑤山崎のドライブからセンター位置での回しこみプレーで加点すると(4:41)、一気にゲームが東京に傾いた。神奈川の攻撃も再三のオフェンス反則で分断しがちになり(このピリオドも4本)、東京12-10神奈川で第3ピリオド終了。

4P

神奈川は泳ぎで劣勢挽回を図るのがセオリー。リードしている東京はまずはディフェンスを固め、少数での攻撃、特に退水誘発を意識する展開に持ち込みたいところ。しかし、東京はやや強引なシュートから神奈川に泳がれる形で、⑤西山に退水を決められて東京12-11神奈川と1点差に。さらにまたも東京はシュートミスから攻め込まれ、③鈴木に中央から決められて12-12と同点に追いつかれてしまった(4:41)。残り4分余りの勝負。追いつかれた東京はすかさず③橋本がセンターで決めて1点リード。神奈川も直後に②田村が退水を誘発し、そこを自身が決めて13-13(4:07)。ここから両チームの懸命な攻防が展開されるが、決め手を欠き、東京13-13神奈川の同点でタイムアップ。勝負の行方はPSOに持ち込まれた。

PSO

1巡目で双方が1人外し、最後は2巡目で勝負が決した形となった。勝った神奈川が国体出場権を獲得。